

後期の実践報告

3年

H16.2.27

学年研修テーマ 「自分の課題をもち、進んで取り組む子」

活動のテーマ 「発見 みんなの町 大岡」

(1) 具体的な活動内容と児童の表れ

日時	活動内容	児童の表れ
H15 11月 12月	<p>発表会準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞 (模造紙にまとめる。) ・絵本 ・紙芝居など <p>発表会(パビリオン形式)</p> <p>1. 2. 3組で交代して発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1クラスが内容ごとに8つのパビリオンで発表した。 ・児童は、自分の発表と似ているところなど、あらかじめ決めておいたパビリオンを回るようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で選んだ課題についてまとめたので、楽しんでできた。 ・グラフや表を使うなど、算数や社会科で学習したことが活かされていた。 ・感想もしっかり書けていた。 ・初めての発表形式だったが、大勢の友だちに聞いてもらえてうれしそうだった。 ・児童は他のクラスの友だちの発表も聞いたので、いろいろな課題について興味を深め、発表の方法についてもいろいろ体験できた。 ・クイズ形式など、楽しんで発表したり聞いたりにしている様子が見られた。
H16 1月	<p>「校区のすごい人をさがそう」</p> <p>南小校区から次のような人をさがす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんばっている人 ・作るのが上手な人 ・何かについてよく知っている人 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度「黄瀬川太鼓」を森田さんに教わっているので、子供達に取り組みやすかった。 ・自分でさがしたり、家の人に聞いたりして、さがした。 <p>リレー、マラソン、サッカー、バスケット、野球などスポーツ。竹細工、竹馬、料理、手芸、野菜や花の栽培などつくること。太鼓、囲碁将棋、手話、犬の飼育など。</p>
3月	<p>校区の人に学ぶ会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問事項などは、あらかじめゲストティーチャーに知らせた。 <p>竹細工 マラソン 手話 将棋 紙工作(クイリング)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が調べてきた人たちの中から、子供達と相談しながら、保護者や地域の方にゲストティーチャーを依頼した。 ・事前に調べたり、課題を発表しあったりして課題意識を高めようとする。 ・会のあと、学んだことをお互いに発表し合い、学習を深めたり、広げたりしたい。

(2) 成果と課題

成果

- ・発表の準備の際には、同じ課題の子などがお互いに助け合って、自分の選んだ形式でまとめることができた。
- ・学年全体でのパビリオン発表をすることによって、発表の方法（地図、本、紙芝居、パンフレット）や、発表のしかた（声の大きさ、姿勢、顔の表情）など学び合うことができた。
- ・「校区のすごい人をさがす」ことによって、今まで何気なく見ていた校区の人たちを新鮮な目で見ることができた。
- ・地域の人とのふれあいによって、大岡のよさに気づき、大切にしていこうという気持ちが育った。
- ・初めての総合的な学習であったが、子供達の中に「総合的な学習は楽しい。」という意識が育った。

課題

- ・前期からの活動である「発見ぼくらの町大岡」では、子供達一人一人の課題が違っていたので自分が、全体の中でどこに位置し、友だちはどんな活動をしているかを、十分理解していなかった。そのため、発表会でも友だちとの学び合いが少なかった。学年の掲示板などに、活動の流れや全体の様子など常掲しておくとうよかった。
- ・調べたことを発表するために、模造紙や画用紙にまとめたが自分の言葉でわかりやすくまとめることができず、たどたどしい子やわかりにくい子も見られたので、練習が不十分だった。
- ・地域のゲストティーチャーや保護者を招いて活動する際に、事前の打ち合わせを密にする。
- ・児童の人数が多いので、一人一人の課題に対して十分な支援がなかなかできない。

(3) 今後の活動など

- ・最後に、1年間の活動をふりかえり、がんばりを認め合って、次年度の活動に生かしたい。